

### 第3学年 国語科学習指導案

平成26年2月18日（火）2校時

児童数 32名

授業者 安藤 恵

1. 単元名 ほうこく書を書こう 「本で調べてほうこくしよう」

2. 単元の目標

◎生活の中から調べたいことを決め、必要な事柄について本を読んで調べることができる。

○書こうとすることの中心を明確にし、構成を考え、まとまりに分けて書くことができる。

○自分の問いを解決するために必要な本や文章を選んで読み、文章を引用したり要約したりすることができる。

3. 単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
調べる事柄を決め、進んで本を探して調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問に思うことを明確に意識して調べている。</li> <li>・報告書の型に沿って、まとまりごとに分けて書き、問いに対する答えを記述している。</li> <li>・問いに対する答えを導くために、文献を引用するなど、理由や事例を挙げて書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献を参照・引用している。</li> <li>・図書館などの利用方法や、事典や図鑑の使い方を理解し、いろいろな本を探して読んでいる。</li> </ul>	報告書を書くために必要な言葉を辞書で調べている。

4. 単元計画（12時間）

時	学習活動
1	調べることを決め、学習計画をたてる。（調べる項目ごとに資料となる本を用意する。）
2	事典や図鑑の使い方を理解する。（図書館指導員の福岡先生と一緒に指導する。）
3	意味調べをする。
4	調べ方を学ぶ。（大事だと思うところにメモ、紙をはさむ。わからない言葉を辞書でひく。もう一度百科事典や図鑑を見る。）
5・6	調べたいことを事典や図鑑、科学読み物などの本から探して読み、報告書に書くことを収集する。
7・8	〈ほうこく書の型〉を参考に構成を考え、調べたことを整理する。
9（本時）	まとまりごとに分けて下書きを書く。
10	清書する。
11・12	報告書を発表し合い、友達と意見を交流する。

5. 本時の学習

本時のねらい ・教科書にある〈ほうこく書の型〉を参考に、調べたことを整理し、まとまりごとに分けて下書きをすることができる。

(1) 展開

	学習活動	・留意点◇評価◆支援
導入 5分	1 学習課題を確認する。 調べたことを整理し、報告書の下書きを書こう。	
展開 35分	2 〈ほうこく書の型〉を確かめる。  3 ほうこく書の下書きをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈ほうこく書の型〉を参考に、それぞれのまとまり（はじめに、調べたきっかけ・理由、わかったこと、終わりに、使った本）にどのようなことを書くのかを確認する。</li> <li>・〈ほうこく書の型〉と〈山野さんのほうこく書〉を見比べながら書き方を示す。</li> <li>・問いに対する答えが抜け落ちないように注意させる。</li> <li>・問いに応じた答えを書かせる。                どうして・なぜ → 理由                どのようにして → 方法・仕組みなど                どんな → 形・性質・働きなど                いつ・どこで → 時・場所</li> <li>◆書き始めが難しい児童には、書きはじめのヒントとなるプリントを渡す。</li> </ul>
まとめ 5分	4 学習を振り返り、本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横書きの文章の書き方を確認できるよう、留意点を確認しておく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文は左から右へ書く。</li> <li>・数字は「1」「2」「3」…を用いる。ただし、「一部分」「一度」「二日目」のようなときには、漢字で書く。</li> </ul> </div> <p>◇報告書の型に沿って、調べたことを整理し、まとまりごとに分けて下書きをしている。[活動・下書き]</p>